

## 踏切の安全のために

### 踏切事故防止のための安全対策

#### ● 踏切障害物検知装置

踏切警報機作動中に踏切内で障害物を検知すると、特殊信号発光機を点滅させて運転士に知らせるとともに、注意喚起の警告ブザーを鳴動させる装置です。現在では、京阪線96カ所、大津線40カ所の踏切に設置しています。



踏切障害物検知装置 ▶

#### ● 踏切支障報知装置

踏切障害物検知装置の設置されていない踏切内にて列車を停止させなければいけない事態が生じた時、非常ボタンを押すことにより運転士に知らせる踏切支障報知装置を京阪線20踏切に設置し、事故を未然に防止しています。



踏切支障報知装置 ▶

#### ● 踏切事故防止のために

踏切に設置している閃光燈や列車進行方向指示器をLED化することで、従来よりも遠方からの視認性を高めています。



列車進行方向指示器 (LED型) ▶

## 大津線(併用軌道)の安全のために

### 併用軌道監視装置

京津線(浜大津駅~上栄町駅約800m)および石山坂本線(浜大津駅~三井寺駅約500m)で一部併用軌道(道路上に敷設された軌道)がある大津線では、交通停滞、不法駐車などで電車の通行に支障をおよぼすことが多いため、道路監視用カメラ(11台)を設置し、運転指令所のモニターテレビ(10台)により電車の運行状況と道路状況を日々監視しています。



◀ 併用軌道監視モニターテレビ

### 自動車侵入検知装置

石山坂本線の三井寺の併用軌道(道路上に敷設された軌道)と専用軌道(専用の敷地内に敷設された軌道)の境界付近は、道路構造上、夜間に自動車が誤侵入する可能性があります。侵入時を早期に検知し、接近する電車に知らせ、事故を未然に防止する装置です。そのほか自動車侵入検知装置以外に、LED表示板および矢印灯で夜間、自動車のドライバーに注意を促して誤侵入防止に努めています。



◀ 三井寺併用境界

### 立体交差化事業

当社では、都市計画事業による連続立体化により、踏切道の立体化を積極的に進めています。近年では、平成11年11月に京阪本線(寝屋川市内)連続立体交差事業により寝屋川市駅付近の京阪本線を高架化しました。

現在は、京阪本線淀駅付近の立体交差化事業を進めています。これは、京都市の都市計画事業として、京都競馬場の最寄り駅である淀駅を中心に京阪本線約1.5kmを高架化する事業で、平成22年度末の竣工を目指しています。

高架化により3つの踏切道を廃止し、利便性向上、安全確保とともに、競馬開催日の混雑を解消します。新駅は従来より約280m京都方面に移設し、2面4線のホームを持つ高架駅に生まれ変わります。

◀ 工事中の高架線

◀ 新 淀駅(イメージ図)